

おとさだ
乙貞

第 202 号 通 巻 35 巻 第 4 号
平成 27 (2015) 年 12 月 1 日 発行

守 山 市 立 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー
TEL/FAX 077-585-4397

〒524-0212
守 山 市 服 部 町 2 2 5 0 番 地

早、師走を迎えました。寒さも厳しさを増し、本格的な冬将軍の到来を予感させます。さて、文化財保護協調月間の 11 月には、秋季特別展に加え、文化財講演会や下之郷遺跡まつりなど、毎週のようにイベントが開催されました。センターは現在、休館しています。開催を終えた秋季特別展の後片付けと、今月 10 日 (木) より皆さんにご覧いただけるよう常設展示の準備を行っている最中です。

それでは、10 月から 11 月にかけての市内遺跡の発掘調査と、開催イベントについてお伝えします。

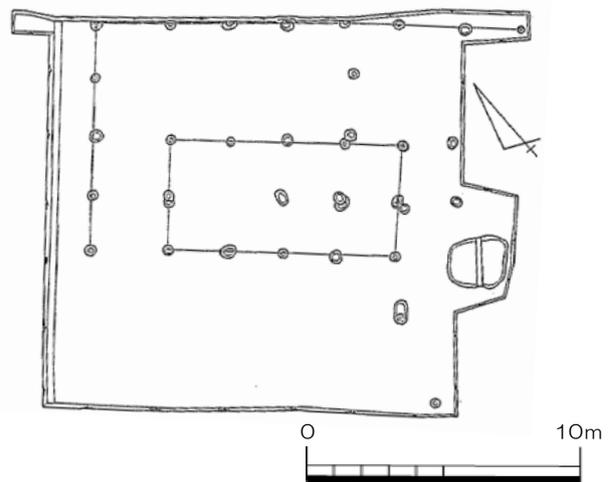
発掘調査だより

1. 播磨田西遺跡の発掘調査

9 月末から 10 月前半にかけて播磨田町字蔵垣内において店舗建築に伴う発掘調査を実施しました。その結果、約 40cm の場所から 2 間×4 間 (梁間約 4m×桁行 8.5m) の掘立柱建物跡 1 棟 (SB1) と柵、土坑などが見つかりました。出土した土師器や須恵器から周辺に広がっている中世集落に関連する遺構と推測されます。(伴野)



▲ 播磨田西遺跡で見つかった掘立柱建物



▲ 播磨田西遺跡調査全体図

2. 下長遺跡の発掘調査

縄文時代から中世にかけての遺跡として周知されている下長遺跡しもながいせきの発掘調査を 11 月 24 日から実施しています。場所は古高町字北八重 737 番 1 地で、古高工業団地内での工場建築に先立つもので、調査面積は約 360m²を測ります。

周辺部の調査で、古墳時代前期の居館跡や竪穴建物・掘立柱建物などが多く見つかっています。今回の調査地は、平成 8 年に行われた第 16 次調査地の近接地にあたり、既調査地以外のエリアを対象に発掘調査を実施しています。前回の調査では、古墳時代前期の竪

穴住居や柱穴、土坑、溝などが多数発見されています。

発掘調査は開始したばかりですが、前回調査同様に古墳時代前期の溝をはじめ土坑、柱穴等が検出されています。溝は台形状の掘方で、区画溝と推測されます。

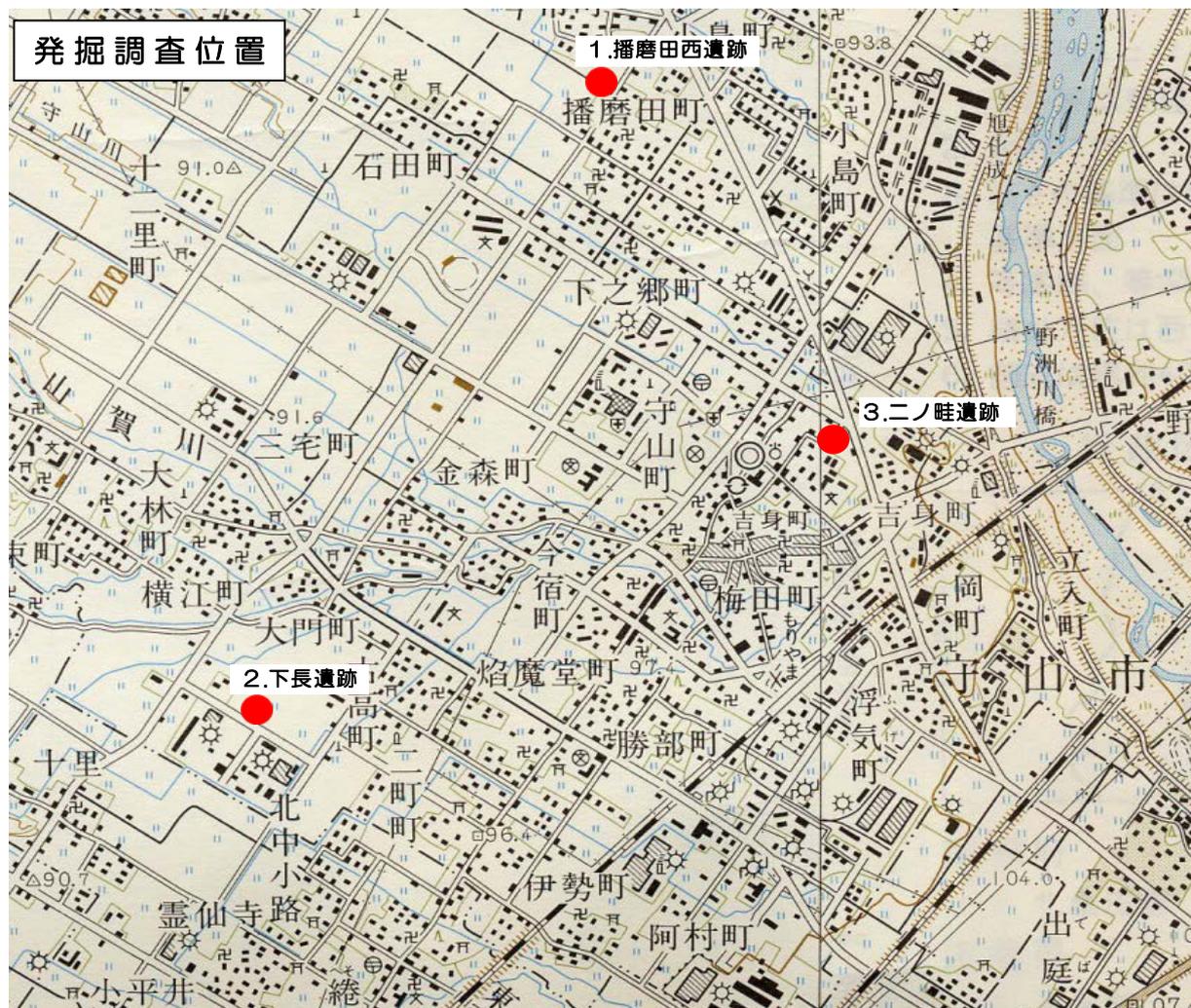
今後、調査区を拡張していきますので、古墳時代前期の下長遺跡中心部の様子が少しずつ明らかになっていくものと思います。なお、来年1月下旬まで調査する予定です。(伴野)



▲下長遺跡の発掘調査風景

3. 二ノ畦遺跡の発掘調査

11月25日から吉身三丁目字森尻において、店舗建築工事に伴い発掘調査を開始しました。これまでに南北方向の溝を複数検出していますが、年代や性格については現在検討中です。今後調査が進めば、より様子がわかってくると思います。調査地の周辺では、弥生時代中期末の集落(二ノ畦・横枕遺跡)や奈良時代の集落(二ノ畦遺跡)などが確認されており、関連の遺構が確認される可能性もあります。調査成果の詳細につきまして、次号で紹介いたします。(小島)



トピックス

文化財講演会を開催しました！

秋季特別展開催中の11月8日（祝）に、（公財）滋賀県文化財保護教会協会の堀 真人さんを講師に「野洲川流域の村と城」と題した講演会を開催しました。

甲賀市貴生川遺跡^{きぶかわいせき}の調査事例から、中世集落の成り立ちと発達を考えていく内容に約50名の受講者は熱心に耳を傾けていました。



▲講演会風景

秋季特別展『中世・守山の村とくらし』の開催を終了しました！

11月3日（火・祝）から11月23日（月・祝）まで開催していました秋季特別展『中世・守山の村とくらし』を終了しました。

さて、中世の戦国武将やその居城、戦いなどに比べ、当時の村の様子や庶民の生活は案外と知られていません。しかし、発掘調査をはじめとする様々な分野での調査によって、現集落のはじまりや地域に伝わる伝統行事、あるいは信仰などのルーツが中世後期にまでさかのぼる例が多いことがわかってきました。

このようなことから、今回の特別展は、横江遺跡や播磨田城遺跡などの中世集落の発掘調査で見つかった出土品から、現在につながる中世の守山の村、人々のくらしぶりを理解していただくことを目的に開催したもので、期間中に、約280名の見学者がありました。

また、見学者にご協力いただいたアンケー



▲秋季特別展開催風景



トでは、展示内容についての評価のほかに、開催する側が今まで気づかなかった感想や有益な提言を頂くことができました。

実行可能なことは、これからの展示や啓発事業に反映していきたいと考えています。来館いただいた皆さん、アンケートにお答えいただいた皆さん、ありがとうございました。

歴史入門講座を開催します！

12月19日(土)の午前10時から、当センター2階会議室におきまして、最終講となる第6講を開催いたします。

今回は、「彦根城-近江の名城から世界遺産へ-」と題して、彦根城博物館研究員の谷口徹さんに講演していただきます。

この講座は事前の受講申込者が対象ですが、席に若干の余裕がありますので、興味のある方は是非、受講してください。



▲彦根城天守閣風景

野洲川田園空間博物館講演会が開催されました

埋蔵文化財センターに近接する野洲川歴史公園田園空間センターでは、11月28日(土)に当センター職員を講師に、講演会「服部遺跡の歴史的意義について」が開催されました。



▲野洲川歴史公園田園空間センター

この講演会は、「野洲川でんくうの会」が地域の歴史・文化を次世代に伝えるために開催したもので、40年を経過した服部遺跡の発掘調査の意義についての内容で、約30名の受講者がありました。今後も機会があれば、皆様のご要望にお応えしていきたいと考えています。



Facebook はじめました!!

埋蔵文化財センターでは、10月29日よりフェイスブックをはじめました。イベント情報や発掘調査状況をリアルタイムにお知らせしていきます。「守山市立埋蔵文化財センターFacebook」で検索してください。

後 期 この10月、埋蔵文化財センターに新たな調査員が加わりましたことを本欄でお伝えいたします。名前は今村翔吾で、戦国時代から近世にかけての歴史に興味を持っています。発掘調査に関しては、大学の講義での経験にとどまっていたのですが、東日本大震災の復興支援に携わる中で、発掘調査を目の当たりにして、この仕事を選択したとのこと。寒風の吹く中、発掘調査作業に励んで、スキルアップに懸命になっています。

今後は、発掘調査に加え、これまでのキャリアを活かした啓発事業も担当しますので、当センターのイベント、あるいは発掘調査現場などでお見掛けの際には、気軽に声をかけていただきますようお願いいたします。(所長記)

